

平成29年度

事業計画

公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団

平成29年度 公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団事業計画目次

1、	基本方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2、	公益事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3、	施設管理事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4、	収益事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5、	法人事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
6、	平成29年度事業計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	5

1 基本方針

文化芸術を楽しむ、育む心は、市民の個性と魅力を高め、心や暮らし、さらには、まち全体を元気にする活力を持っています。市民の文化活動によって日々創造される文化、そして歴史や伝統に育まれた文化が織りなす「すずか文化」を一層発展させるとともに、次代の担い手である子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を創り、文化が引き継がれていくことを目標にして事業を展開していきます。

事業を企画するにあたり、次の3点を柱としてすすめます。

1. 鈴鹿市総合計画 2023、第2次鈴鹿市文化振興ビジョンを指針として、鈴鹿市の文化振興を図ります。
2. 市民、参加者、利用者のニーズを把握して企画に反映させます。
3. 先進的な事業を調査・研究し、また専門家や有識者の協力を得て市民の皆様に魅力的な企画を開発して提案します。

事業を実施するにあたり、次の点に留意してすすめます。

1. 文化情報誌「けやき」を柱に多彩なメディアを活用して、事業を多くの方に知っていただき、より多くの方の参加を目指します。
2. 参加者の喜びや感動が大きくなるように事業選定を行い、円滑な運営に努めます。
3. 市民参加型の事業は広く開かれたものとし、関係者や市民の皆様にも運営等で参画していただき、一緒につくっていきます。また、鈴鹿市を中心に活躍する専門家やアーティストと協力していきます。
4. 文化振興事業への企業、団体等の協力や協賛を広げていきます。

2 公益事業

公益事業として、(1) 市民シアター事業 (2) 文化工房事業 (3) 鈴鹿市委託事業 (4) 広報事業の4事業を実施します。

(1) 市民シアター事業

優れた文化芸術に接する機会を設け、幅広い年代層を対象に多彩なジャンル構成で公演を行います。また、文化庁や一般財団法人地域創造等、各種助成団体が公募する助成事業の活用も行い、できるだけチケット価格を安価に設定

していきます。

(ア) 音楽公演

クラシックや吹奏楽、軽音楽など、幅広く実施し、一流アーティストや地元出身アーティストの演奏に触れていただき、技術レベルの向上や音楽への関心を高めるにとどまらず、人々や街を元気にし、次の世代を育てるなど、音楽の持つ力により文化振興を図る事業として取り組みます。

(イ) 演劇公演

演劇公演は費用や準備期間など、事業として大きな経営資源を要します。そのため市民の皆様が鑑賞する機会は音楽に比べて少ない現状があります。総合芸術である演劇を市民の皆様様に体験していただけるように、市民による実行委員会と協働して演劇の輪を広げていきます。

(ウ) 伝統芸能公演

狂言や落語など日本の伝統芸能の公演を積極的に開催していきます。特に平成 29 年度は鈴鹿市民会館改修後に能舞台を使った狂言の公演を実施します。

(エ) 次世代育成事業

次世代を担う子どもたちが芸術文化に触れる機会を設け、保護者とともに来場しやすい公演を開催します。

(オ) その他公演

他の事業団や文化団体等が開催する事業について、緊密な連携や調整を行い、共催や後援等によって充実させていきます。

(2) 文化工房事業

文化活動と生涯学習機会を充実させるために各種のセミナーを開催します。

(ア) セミナー

- ・ 鈴鹿市民大学文芸学科

作家、評論、解説等で活躍する講師陣による文芸講座です。

- ・ 文化セミナー

産業、歴史、文化など幅広いテーマで実施する講座です。地域へ出かけ、体験していただく講座も実施します。

- ・ 美術セミナー

三重県立美術館友の会との共催による講座です。鈴鹿市美術展開催期間中に実施します。

・放送セミナー

ケーブルネット鈴鹿（CNS）との共同制作により、鈴鹿の歴史や文化芸術をテーマにした番組を年間2本制作し、放送します。市内企業、団体から幅広く協賛していただきます。

(イ)アウトリーチ、ワークショップ

学校、公民館等を会場にアウトリーチ事業を実施し、学校や地域にしながら、プロのアーティストによる優れた演奏を鑑賞していただきます。また文化体験活動も設け、子ども同士が交流し、発表し合うなど、みんなで作る場を設けます。こうした事業によって子どもたちが本物に出会い、自発性や感性を育てる機会とします。

(3) 受託事業

鈴鹿市から委託を受け、次の4事業を実施します。これらの事業は市民の創作、創造活動の貴重な発表の場となっており、市民文化の振興に大きな役割を持っています。実施に際して準備から発表まで長期間を要し、多くの方が参画する事業のため、各分野の専門家や有識者の協力をいただきながら進めます。

(ア)第50回鈴鹿市美術展

市民による美術作品発表の場として、6部門（日本画、洋画、彫刻、美術工芸、写真、書道）で作品を募集し、市外審査員を含む専門家による公開審査を行います。それぞれの部門で市長賞等各賞を決定します。また、市内企業等の協賛による企業賞も設け、広く支えられる美術展を目指します。入賞作品は文化週間に開催する展覧会で展示し、図録にも掲載して多くの市民の皆様にご覧いただきます。

(イ)第26回鈴鹿市文芸賞

一般の部とジュニアの部で、小説、エッセイ、詩、短歌など各ジャンルで募集し、有識者による審査を行います。それぞれの部で最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定し、贈呈式を行います。また、受賞作品を掲載した冊子「市民文化」を作成し、市民の皆様にご覧いただきます。

(ウ)鈴鹿の街音楽祭 2017

音楽が盛んな鈴鹿市の音楽イベントとして、合唱やクラシック、吹奏楽、邦楽から軽音楽まで、多彩なジャンルで開催します。出演者も実行委員やスタッ

フとして参加し、みんなで作る音楽祭としていきます。

(エ)吹奏楽フェスティバル in 鈴鹿 2017

吹奏楽の盛んな鈴鹿市として、小学校の金管バンドクラブ、中学、高等学校の吹奏楽部を中心としたフェスティバルを開催します。

(4) 広報事業

事業団の文化情報誌「けやき」を発行し、市の「広報すずか」に折込み、全戸配布します。また、事業ごとにポスター、チラシを作成し、県内の公共施設等へ掲示、配架します。ホームページへの掲載にも注力し、スマートフォン等を使った情報検索にも迅速に対応します。主な主催事業では FM 三重の協力も得てドライバー等への PR を進めていきます。

3 施設管理事業

鈴鹿市の文化施設に指定管理者制度が導入される場合には、積極的に対応していきます。三重県文化振興事業団を始め、他市の事業団等と連携や協力を進めます。H29 は特に施設管理運営について研究、研修を進めます。文化振興の拠点施設としていくための研究や、事業実施と施設の管理運営を一体的に行う場合の利点や課題を調査、研究します。

4 収益事業

当事業団は収益事業実施の認可を受けておりますので、指定管理者制度を見据え、自動販売機の設置やショップ等の検討を進めていきます。また、主催公演時の CD・DVD、書籍等の販売を行っていきます。

5 法人事業

理事会、評議員会の開催、処務、会計、人事管理、行政庁への諸書類の報告などを行います。また、指定管理者制度導入に備え、各種規則、帳票類の整備等をすすめるとともに、研修も行っていきます。

平成29年度鈴鹿市文化振興事業団事業計画

事業	ジャンル	名称	アーティスト/講師/テーマ等	開催日時	開催場所
市民シアター事業	クラシック系	千住真理子&横山幸雄 デュオ・リサイタル～大人のデュエット～	2015年にデビュー40周年を迎え、2017年も全国ツアーを行う千住真理子と、2017年デビュー25周年を迎えるピアニスト横山幸雄との、贅沢な夢の共演が実現。	6月3日(土)	鈴鹿市文化会館 けやきホール
		平成29年度宝くじ文化公演 関西二期会Present 「映画音楽とオペラアリアへの誘い」	宝くじ文化公演採択により、いなべ市との連携事業。落語家の桂米團治が、とある弁士の生涯を語りながら、映画音楽を中心に、オーケストラの演奏をバックに関西二期会や、三重オペラ協会所属の音楽家が心に響く歌を熱唱。	9月3日(日)	鈴鹿市文化会館 けやきホール
		避難訓練コンサート	南海海地震が懸念される昨今、鈴鹿市の防災危機管理課や、所管である文化振興課との連携により、ホールコンサート中の地震を想定した市民参加型避難訓練コンサートを鈴鹿市文化会館で開催。	12月17日(日)	鈴鹿市文化会館 けやきホール及び 文化会館
		スイーツ&カフェコンサートVol.7 (クワチュールB)	市内の洋菓子店等のスイーツを味わいながら、地元ホテルのコーヒーや紅茶と一緒に、コンサートを楽しんでいただく、オリジナル企画。今回の出演は、実力派イケメンサクソカルテット。	H30年3月22日 (木)	鈴鹿市文化会館 さつきプラザ
		鈴鹿市公民館Present ミュージック・ガーデン	鈴鹿市内の地域の拠点である公民館において、プロの演奏家による気軽なコンサートを開催。鈴鹿市地域振興部地域協働課との連携により初年度は3館を開催予定。	未定	鈴鹿市内公民館
	軽音楽系	すずかJAZZ Vol.4	鈴鹿市出身のJAZZプレイヤー、江藤良人、山下真理、中村好江の3人がそれぞれのメンバーと共に、4回目となる真夏のJAZZナイトを開催。今回は、神戸小学校校管バンドクラブとも共演。	7月9日(日)	鈴鹿市文化会館 けやきホール
		鈴ゴスウィズコンチネンタルファミリー クリスマスコンサート	一般公募のワークショップ参加者とプロのゴスペルグループとの共演。ワークショップを経てコンチネンタルファミリーと同じ舞台に立つ。	12月16日(土)	鈴鹿市文化会館 けやきホール
	落語 古典芸能	野村萬斎 狂言の現在2018	鈴鹿市民会館のリニューアルを記念し、鈴鹿市民会館開館当初から話題だった能舞台を使用したの狂言公演。狂言界で安定した人気を誇る、野村萬斎の軽妙なトークによる解説は今回も狂言の楽しみ方、みどころをわかりやすく解説。6年連続公演。	H30年1月27日 (土)	鈴鹿市民会館
		第13回けやき寄席	第13回を迎える今回のけやき寄席は、出演者最終調整中。	未定	鈴鹿市文化会館 けやきホール
	親子 ファミリー向け	セントラル愛知交響楽団 ファミリー コンサート ゼーんぶジブリ!! Vol.2	セントラル愛知交響楽団管弦楽アンサンブルによる、誰もが心魅かれるジブリ音楽の名曲の数々を親子で楽しむファミリーコンサート。開演前に紙で作る手作り楽器は子供達に音楽の楽しさを提供。	7月2日(日)	鈴鹿市文化会館 けやきホール
共催事業					
合唱	合唱フェスティバルin鈴鹿2018	鈴鹿混声合唱団、鈴鹿女声コーラス等鈴鹿市内合唱団によるコンサート(実行委員会)。例年クリスマス前に開催されていたが、今年度は、市民会館改修工事の為、リニューアル後の開催となる。	H30年3月	鈴鹿市民会館	
ミュージカル	第12回白子高校創作ミュージカル「大黒屋光太夫」	12回目を迎える白子高校吹奏楽部による大黒屋光太夫の波乱の人生を取り上げた、すべて創作によるミュージカル。	H30年2月	鈴鹿市民会館	
	他共催事業		交渉後随時		

文化工房 事業	文化セミナー	鈴鹿市民大学文芸学科	テーマ:昭和レクイエム～その時代の証言者たち～ 5月開催の第1回では、2月7日にご逝去された、文芸評論家の清水信氏を偲ぶ。	5月～11月 第2水曜日 (8月は休講) (11月のみ第3水曜)	鈴鹿市文化会館 第1研修室
		文化セミナー	文化や歴史を学び、実際に体験していただく講座。コーヒー講座ほか。	11月以降年度末 までに3回程度	鈴鹿市文化会館ほか
		美術セミナー	県立美術館友の会との共催による美術講座。美術展期間中開催。	11月	鈴鹿市文化会館
		放送セミナー	ケーブルネット鈴鹿との特別共同番組制作。家に居ながら楽しく学ぶことを目的に、毎年テーマを決めて年間2本の番組を作成。	10月及び2月	CNS
	アウトリーチ	アウトリーチ・ワークショップ事業 (クワチュールB)	普段、プロの演奏に触れる機会の少ない子どもたちの学校にプロのアーティストが直接出向き、間近で演奏を体験していただき、音楽の授業とは一味違った生の演奏の迫力を体験。	H30年2月 22日・23日	学校等
ゴスペルワークショップ(鈴ゴス クリスマスコンサートと連動)		コンチネンタルファミリーの北出・北郡講師によるゴスペルワークショップ。プロから本格的なゴスペルを学び、クリスマスコンサート本番を目指す(12年目)。	10月～12月 計4回	鈴鹿市文化会館	
広報事業	ホームページの活用及び情報誌、共通経費	ホームページ(スマートフォン対応)、情報誌によるイベント告知、文化情報の発信等。	通年		
市受託事業	第50回鈴鹿市美術展	第50回、鈴鹿市民の美術作品のコンクール及び展覧会。	11月1日(水)～ 11月5日(日)	鈴鹿市文化会館	
	第26回鈴鹿市文芸賞	鈴鹿市民の文芸作品のコンクール及び作品集の発行。 6月～3月。	H30年3月10日 (土)贈呈式予定	鈴鹿市文化会館	
	音楽の街事業	鈴鹿の街音楽祭2017	鈴鹿市の『文化振興ビジョン』の提言のもと開催。音楽活動を行っている市民や学校の子どもたちで作る市民参加の音楽イベント。	11月19日(日)	鈴鹿市文化会館
	吹奏楽フェスティバルin鈴鹿2018	鈴鹿市の『文化振興ビジョン』の提言のもと開催。吹奏楽の盛んな鈴鹿市で市内小・中・高校を中心としたフェスティバル。出演:白子高校他、プロのゲストにも加わって頂き、フェスを盛り上げる。	H30年3月17日 (土)予定	鈴鹿市民会館	